

⚠ 注意

施工時のご注意

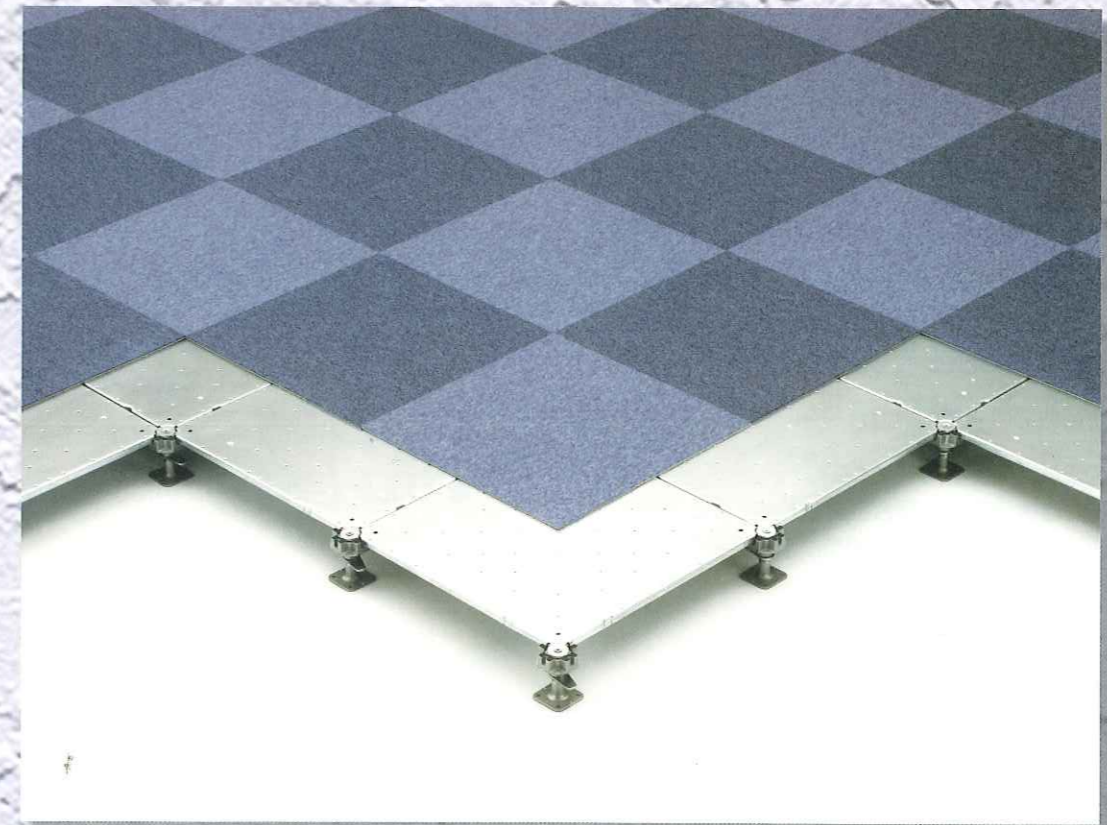
- 素手での取り扱いはケガの原因となります。取り扱いには、保護手袋を着用してください。
- パネルの改造(穴明け、切断)は、強度の低下を招くなどの影響がありますので改造部分には補強が必要になります。
(改造される際には必ず製造元メーカーまでご相談ください)
- 重量物の設置がある場所には、パネルの中央部等、コーナー支柱で補強してください。
- パネル支柱の接着剤塗布量が多すぎた場合(特にMP50~MP70で施工時)、コーナーロックが出来なくなる場合がありますのでご注意ください。

ご使用時のご注意

- モザイクフロアシステム上に敷いてある表面材(カーペット、タイル等)は、剥がさずにご使用ください。
- 重い物を落としたり、踏み台などから飛び降りたりすると、パネルや支柱を破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 機器やデスクを設置する時は、フロアに衝撃を与えないように、そっと設置してください。
- 重量物の移動や台車での移動は、パネルを痛めたり仕上げのカーペットがずれる場合がありますのでご注意ください。
(移動には、9mm厚以上のベニヤ板などを敷いてください)
- 頻りに台車の通路となるところは、導板を敷いてください。
- 重量物を設置するときは、キャスターなど設置面積が小さいとパネルに偏った荷重がかかり、変形や破損が発生することがありますので、設置面には補強が必要となります。販売店、施工店にご相談ください。
- パネルは必要なとき以外は取り外さないでください。やむを得ず取り外す場合は、保護手袋を着用し、フロア下の電源ケーブルや電話線等に充分注意してください。
- パネルは取り外したままにしないでください。やむを得ず取り外したまま放置される場合は、その周りに柵などで囲いをするなど、落下事故を防止してください。
- 増改築や大幅な機器の配置変更など広範囲にパネルを動かす場合は、販売店、施工店にご相談ください。
- 重量物の機器を配置変更する場合は、補強工事等が必要な場合もありますので、販売店、施工店にご相談ください。
- 温度や湿度が高い部屋や長時間使用されない部屋は、室内の換気に充分ご注意ください。(パネルが結露し錆びや濡電等の原因になります)
- 万一、フロアのがたつきやへこみなどが発生した場合は、すぐに、販売店、施工店に修理を依頼してください。
- モザイクフロアシステムの性能を保つため、定期的な点検をお勧めします。
(販売店、施工店にご用命ください)

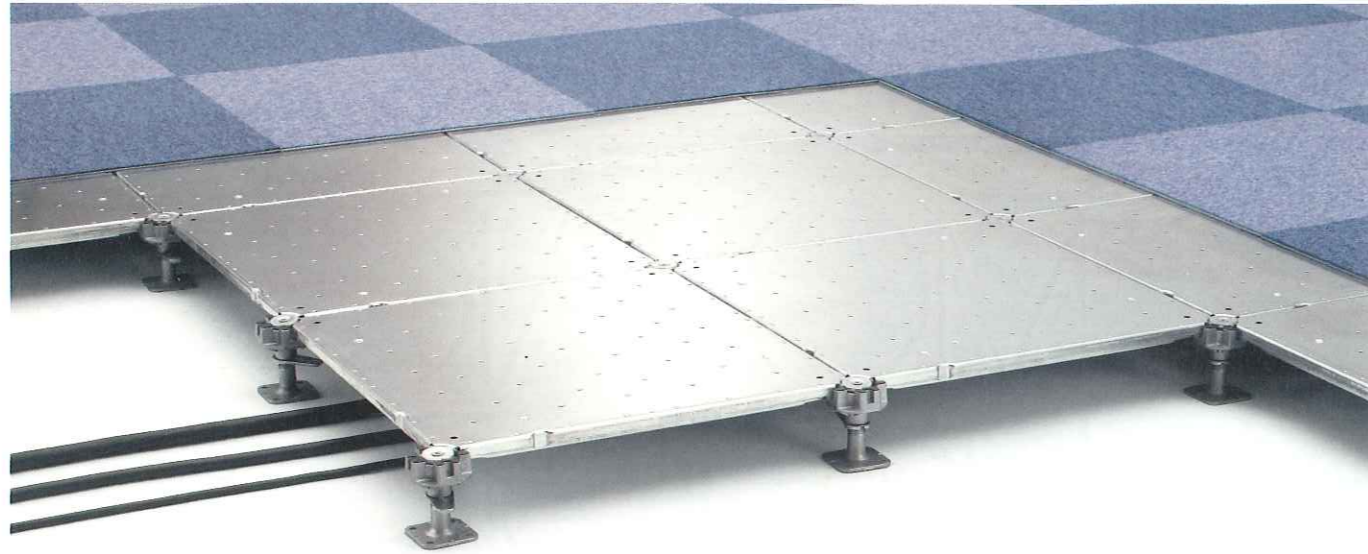
モザイクフロアシステム MF-3Z / MF-5Z

MOSAIC
FLOOR
SYSTEM®



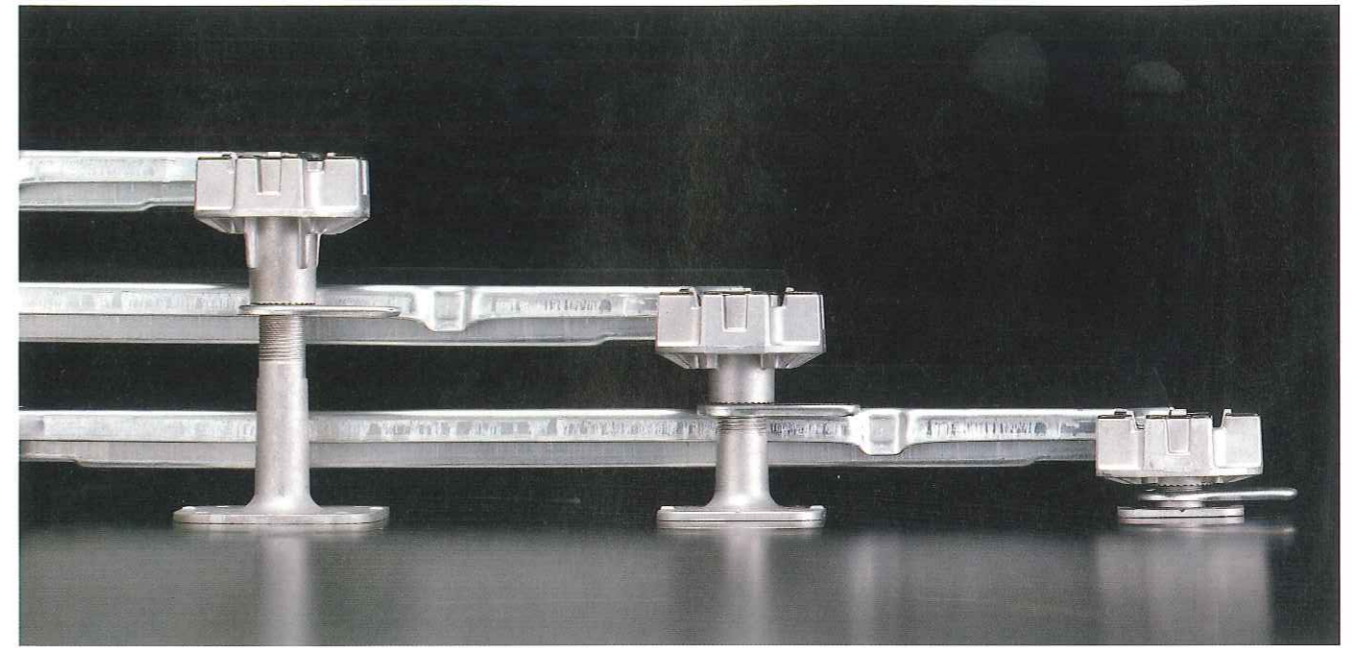
※改良のため当カタログ記載の内容および仕様は予告なしに変わることがあります。

MOSAIC FLOOR SYSTEM®



※写真はMF-3Z基本セット。(1m²) 標準パネル(MF-3ZC)×4枚です。

多様な高さや配線プランに応える高品質&独自設計の支柱



Cタイプ

ビジネスの拡大を考慮した、大容量の配線スペースを確保するのに最適

単位：mm

パネル支柱

品番	MP-50	MP-60	MP-70	MP-80/90	MP-100
タイルカーペット天※	45~57	53~70	63~80	73~99	88~112
有効配線高さ	14~26	22~39	32~49	42~68	57~81

品番	MP-110/120/130	MP-140/150	MP-160/170/180	MP-190/200
タイルカーペット天※	101~139	130~160	150~190	175~215
有効配線高さ	70~108	99~129	119~159	144~184



ボーダー支柱/コーナー支柱 ※□バックはボーダ支柱 ※□バックはコーナー支柱

品番	MB-50	MB-60	MB-70	MC-50	MC-60
タイルカーペット天※	47~62	53~72	58~82	48~54	53~65
有効配線高さ	16~31	22~41	27~51	17~23	22~34

品番	MC-70	MC-80	MC-90	MC-100	MC-110
タイルカーペット天※	62~79	70~90	78~102	85~115	95~125
有効配線高さ	31~48	39~59	47~71	54~84	64~94

品番	MC-120	MC-130	MC-140	MC-150	MC-160
タイルカーペット天※	105~135	115~145	125~155	135~165	145~175
有効配線高さ	74~104	84~114	94~124	104~134	114~144

品番	MC-170	MC-180	MC-190	MC-200
タイルカーペット天※	155~185	165~195	175~205	185~215
有効配線高さ	124~154	134~164	144~174	154~184

※6mm厚のタイルカーペットで算出。
※上記以上の寸法につきましては、パネル支柱、コーナー支柱とも特注対応となります。

Tタイプ

リニューアルなど床面を低く設定するのに最適

オプション：受注生産

単位：mm

Tタイプ用ボルト

品番	BT32L	BT42L	BT52L
タイルカーペット天※	37~57	47~67	57~77
有効配線高さ	6~26	16~36	26~46

※6mm厚のタイルカーペットで算出。 ※上記以外の寸法につきましては、お問い合わせください。



将来を見据えて、あらゆる環境にこだわってみました。

ウイスカ対策対応フリーアクセスフロー

■ウイスカ対策

コンピュータ機器等に悪影響を与える「ウイスカ」。「モザイクフロー」は、亜鉛ウイスカ発生防止対策として、

- (1) パネル本体は溶融亜鉛鍍金鋼板を採用のため、亜鉛ウイスカは発生いたしません。
- (2) 支柱そのものの材質の見直し(アルミダイカスト化)
- (3) 支柱の表面処理方法の見直し
 - KSG(溶融亜鉛—錫合金鍍金)
 - DISGO(クロムフリー超薄膜型高耐食性表面処理)

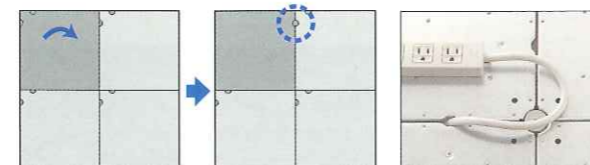
■軽量オールスチール製フロアパネルで不燃

- 「モザイクフロー」は「軽くて強い」をコンセプトに開発されました。
MF3ZC(3000Nタイプ)……約19.2kg/m²(パネルのみ)
MF5ZC(5000Nタイプ)……約22.8kg/m²(パネルのみ)
の軽量設計により、建築物への負担も少なく、新築はもちろんのこと、リニューアルにも最適です。

- パネルはオールスチール製だから不燃材です。
- パネルはオールスチール製だからリサイクルが可能です。

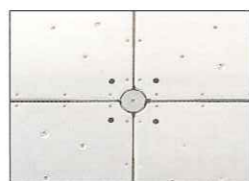
■ケーブルの取り出しも簡単

パネルにはOAタップ等のケーブル取り出し用として、2辺に通線用切り欠きが設けられています。

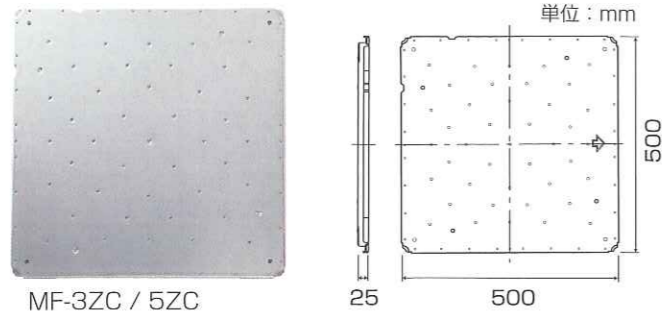


■快適な歩行感・ガタツキのない連結ロック方式を採用

- パネルの中央部と周辺部の強度差を解消し、快適な歩行感を実現。
- 連結ロック機能付だから、パネルと支柱がガッチリと固定され、ガタツキが少なく美しい仕上がりです。



標準パネル&仕様



●標準パネル		MF-3ZC	MF-5ZC
品番		MF-3ZC	MF-5ZC
規格		3000N仕様	5000N仕様
寸法		500×500×25 (mm)	
材質(上板、下板)		熔融亜鉛鍍金鋼板	
構法と分類		パネル構法、支持分離型、独立支柱タイプ	
製品質量		約19.2kg/m ² 約4.8kg/枚	約22.8kg/m ² 約5.7kg/枚
基本セット(1m ²)		標準パネル 4枚	

優れた性能

- MF-3ZC/5ZC及び支柱は、(社)公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」において評価委員会が定めた基準を満たしています。(MF-3ZC:評価:第021-02501415号)(MF-5ZC:評価:第061-02502311号)
- MF-3ZC/5ZC及び支柱は、JIS A 1450「フリーアクセスフロア構成材の試験方法」に基づいたフリーアクセスフロア工業会(JAFA)規格に適合しています。(JQA評価:1614040)
- 下記の①~④は、(財)日本品質保証機構(JQA)において、⑤は(財)日本建築総合試験所において、⑥は(財)建材試験センターにおいて、各試験を実施。

- ①荷重試験…JIS A 1450:2003 の7項に準拠
MF-3ZC/5ZCの中央部又は辺部にφ50の加圧子で荷重を加えながら荷重及び変形曲線(加圧子の下り量)を測定、さらに破壊までの最大荷重を計測する。
- ②衝撃負荷後の荷重試験…JIS A 1450:2003 の8項に準拠
MF-3ZC/5ZCの中央部に、なす型錘(0.5kg)を1mの高さから落下させ衝撃を加えた後、荷重試験を行い強度を計測する。
砂袋の場合は質量を30kgとし50cmの高さから中央部に落下させた後、同様の方法で計測する。
- ③帯電性試験…JIS A 1450:2003 の11項に準拠
JIS L 1023「繊維性床敷物の性能に関する試験方法」に則り、人体耐電圧を測定する。
- ④漏洩抵抗試験…JIS A 1450:2003 の12項に準拠
JIS K 6911「熱硬化性プラスチック一般試験方法」に則り試験を実施。
MF-3ZC/5ZCの表面中央部に緩衝板を敷き、その上に電極を置く。
絶縁計の測定端子の一端を電極に他の一端をアース線に接続し、1分間500Vの直流電圧を印加した後の抵抗値を測定する。
- ⑤耐震試験
(社)公共建築協会の定める「振動台による耐震性能試験」方法に則り、(財)日本建築総合試験所にて耐震試験を実施。
MF-3ZC(3,000N/m²載荷時)、MF-5ZC(5,000N/m²載荷時)、1G(H=200mm以下)の耐震性能を有しています。
- ⑥ローリングロード試験…JIS A 1450:2003 の9項に準拠
(財)建材試験センターにてローリングロード性能(載荷・変形・荷重)試験を実施。基準を満たしていることが証明されました。

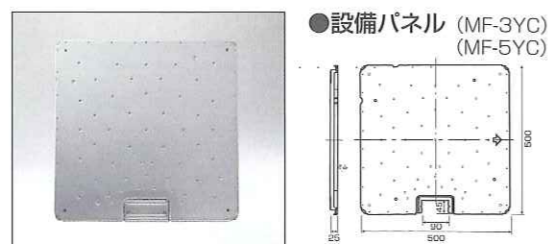
■試験結果 性能一覧表 ※環境条件 20℃ 33%RH

品番 試験体	試験項目 規格 実測値	荷重試験				衝撃負荷後の荷重試験		帯電性能試験	漏洩抵抗試験
		変位		最大荷重		なす型錘(0.5kg)	砂袋錘(30kg)		
		中央部	端部	中央部	端部	最大荷重	最大荷重		
MF-3ZC	JAF規格	4.0mm以下		6,000N以上		6,000N以上	6,000N以上	人体耐電圧≦2,000V	(R) >1×10 ⁶ Ω
	実測値	3.8mm以下		12,000N以上	7,000N以上	12,000N以上	12,000N以上	640V以下	1.9×10 ¹² Ω
MF-5ZC	JAF規格	4.0mm以下		10,000N以上		10,000N以上	10,000N以上	人体耐電圧≦2,000V	(R) >1×10 ⁶ Ω
	実測値	3.8mm以下		17,000N以上	10,000N以上	17,000N以上	18,000N以上	480V以下	3.4×10 ¹² Ω

品番 試験体	試験項目 規格 実測値	耐震試験				ローリングロード試験				
		積載荷重	外観観察		積載荷重	最大変形量		載荷		外観観察
			中央部	端部		中央部	端部	中央部	端部	
MF-3ZC	基準※	3,000N	パネルの膨らみ、せり上がり、破壊等使用上の障害が生じないこと		1,000N	1.5mm以下	1.5mm以下	6,000N以上	使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつき等の欠点がないこと	
	実測値	3,000N	異常なし		1,000N	0.2mm以下	0.2mm以下	12,500N以上	異常なし	
MF-5ZC	基準※	5,000N	パネルの膨らみ、せり上がり、破壊等使用上の障害が生じないこと		1,000N	1.0mm以下	1.0mm以下	10,000N以上	使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつき等の欠点がないこと	
	実測値	5,000N	異常なし		1,000N	0.2mm以下	0.2mm以下	20,000N以上	11,500N以上	

※基準とは、(社)公共建築協会による「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築材料・設備機材等 品質性能評価事業」において評価委員会が定めた基準を示します。

オプション



●設備パネル (MF-3YC) (MF-5YC)

ご使用の際はコーナー支柱で補強することをお勧めします。

●ボーダーカバー



壁際や柱まわり等のパネルカット部に使用します。

施工手順

独自の連結方法などによって工事が簡単スピーディに行なえます。

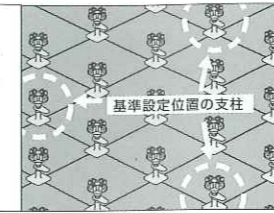
●Cタイプ

1 清掃・墨出し

施工図に基づいて、床面に割付墨を打ちます。

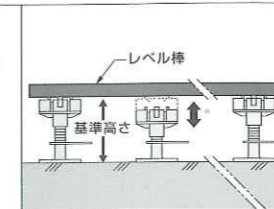
2 基準の高さを設定

割付墨に合わせて支柱を並べ、基準レベル設定位置の支柱をトランジット等で基準の高さを設定します。
高さ調節は支柱のトッププレート回転させて行います。



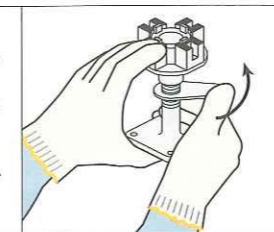
3 各支持脚のレベル出し

基準の高さに設定した支柱間にレベル棒を渡し、その支柱間の支柱のレベルを合わせます。



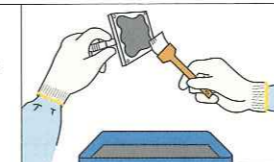
4 トッププレートの固定

ロックレバーをトッププレートに当たるまで右方向に回転させ、右図のようにトッププレートとベースプレートを、手で高さが変わらないようにおさえながら、ロックレバーを手締めにて固定します。



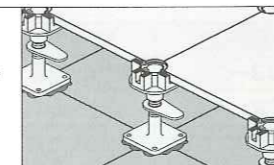
5 支柱の接着

支柱のベースプレート底面に接着剤を塗布し、床面に手で押し付けます。
※接着剤の塗布量に注意して下さい。



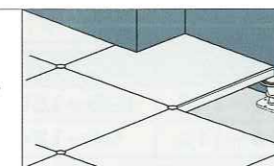
6 パネル敷込

高さ調整された支持脚上にパネルを順次敷設していきます。



7 ボーダー工事

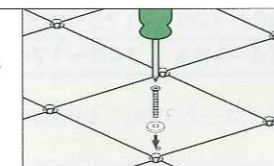
ボーダー等取合部を施工します。



8 パネル固定

敷きつめたパネルを皿ビスと連結ワッシャーで固定します。

※締付トルクは 4~5N・m 程度



9 タイルカーペット等を施工

パネルの目地とタイルカーペットの目地を100~250mm程度ずらして敷きつめます。



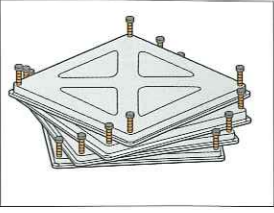
●Tタイプ

1 清掃・墨出し

施工図に基づいて、床面に割付墨を打ちます。

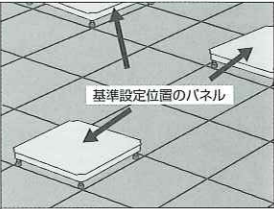
2 ボルトの取付

全てのパネルにTタイプ用ボルトを取付けておきます。



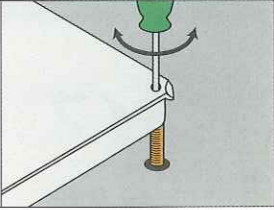
3 パネルのレベル出し-1

割付墨に合わせて基準レベル設定位置にパネルを置きトランジット等で基準の高さを設定します。



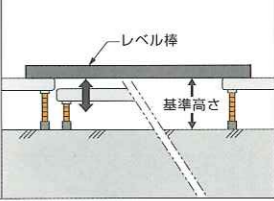
4 パネルのレベル出し-2

パネルの高さ調節は、ドライバー(プラス)を床パネルの四隅の調節孔にさし込み、調整ボルトを回転させて行います。



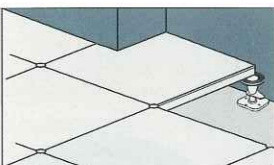
5 パネルの敷込

基準の高さに設定したパネルの間にレベル棒を渡し、パネルを順次、レベルを合わせながら敷設します。



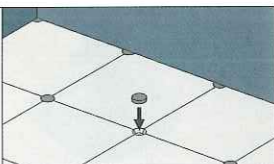
6 ボーダー工事

ボーダー等取合部を施工します。



7 キャップ取付

敷きつめたパネルの各コーナー部にTタイプ用キャップを取り付けます。



8 タイルカーペット等を施工

パネルの目地とタイルカーペットの目地を100~250mm程度ずらして敷きつめます。



完成

